
美少女なんて・・・

影山輪火

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

美少女なんて・・・

【Nコード】

N3320BA

【作者名】

影山輪火

【あらすじ】

生まれながら見た目がパーフェクト美少女の紗倉周さくら あまね（＊注意＊男です）が同じ学校の先輩、椿野雪奈つばきの ゆきなに捕獲されてしまった。その理由は

「私は可愛い物が好きだからよ」
ただそれだけだった。

謎の部活「使命部」に入れられた周は雪奈の命令でいろんなミッションをクリアし・・・。

主人公がメインヒロインの謎学園ラブコメ？

始まります。

捕獲

「付き合ってください!」

授業が終わった放課後、僕は体育館裏に呼び出されていた。日も傾きかけた夕方五時、告白するにはぴったりの時間帯だろう。

高校一年の初夏の夕方、僕は告白されていた。

普通に考えたら「リア充爆発しろ!」と言われても仕方ないぐらい良いシーンのはずだ。

僕の名前は紗倉周さくら あまね、県立稲荷宮高校に通う普通の男子生徒だ。

そして告白してきた相手の名前は藤島。

そう、「藤島大輝ふじしま だいき」正真正銘、男だった

登下校用の自転車置き場、すぐ近くの体育館からはバスケット部の練習の声が聞こえる。僕は基本的に自転車登校のため、この場所は馴染み深い。

「またか周ちゃん、お前の可愛いらしい見た目も罪なもんだな」

「笑いごとじゃねえよ、高校に入ってから何回目だと思ってるんだ・

・。あと、前から言ってるがそのちゃん付け止めろ、凄えムカつくから。」

「まあまあ、いいじゃねえが呼び方ぐらい、それにこっち方がしくりくるだろ。」

そう言って自転車の鍵を開け、笑いながら話しかけてくるクラスメイトの武川響むかわ ひびき、小学校からの悪友である。

「可愛いらしい見た目」と言われたのは僕のことだ。

肩まで長くのびた黒い髪。

男にしては小さい身長。

毛の生えてない綺麗な肌。

そのほかにも目、鼻、口、手、声。全てが女に見える

僕はこの見た目のせいで今まで苦勞をしてきた。

トイレに入れば不審者扱い、銭湯に行けばつまみ出され、はたまた電車にのれば80%の確率でサラリーマンのおっさんに痴漢をされる。

この時点で聞いた人は「女には好かれるんじゃないか?」と思うだろうが、そんな事はなかった。だって女の子からしてみれば、クラス男子が次々に僕に告白してくるんだ、当然その中には自分の好きな子もいるだろう、好かれるはずがない。

さっきの藤島みたいに告白してくる奴は初めてではなかった。藤島は僕を男だと知らずに告白してみたのだが、中には男だと知ってなお、告白してくる奴もいる始末。

ちなみに、今、隣にいる武川は完全なるアニメオタクなため女になんか告白はしないし、僕に告白するなんて気の狂った真似はまずしないが。というより、そのおかげで僕は武川と友達でいられる訳だ。

「じゃあな、周ちゃ〜ん」

「だから、ちゃん付け止めろって!」

そう叫んだか、武川は自転車をダッシュで漕ぎながら十字路の反対方向に走って行ってしまった。

武川と別れてから数分が経ち、僕は家のすぐ近くまで来ていた。あとこの坂を登れば我が家だ。

「今日は蒸し暑かったから早く風呂に入りたいな」

そんなどうでもいい事を呟きながら坂を登ろうとしたその時、

「その貴方、止まりなさい!」

透き通るような声で僕は呼び止められた。何の疑問も持たず後ろを振り返ると、

それはもう、超絶美少女がいた。

腰まで伸びた長い黒髪ポニーテール。

少しだけ吊り上がった性格の強そうな目。

そして、清潔感溢れるオーラ。

まるで、美術品のように美しくて儚く時間が止まったような感覚だった。

「あのー、どうかしましたか？」

不覚にも見惚れてしまった僕は、ほんの数秒の間において質問した。

「貴方が紗倉周さん？」

僕の名前を呼んだ彼女は微笑みながら話しかけてきた。僕の名前を知っているのは学校が同じだからだろう、制服が同じだ。

「あ、はい、そうですけど……。どうかしましたか？」

彼女に心当たりがなかったため、普通に返事をした。

そして彼女も大きく間をおいて話し始めた。

「私は貴方を捕獲しに来たの。」

そう言って彼女はニツコリと笑った。「笑った顔も可愛いなー」一瞬そう思ったが、今のツツコミどころはそこじゃない。聞き間違いかとも思いもう一度聞いた。

「……すいません、もう一度言ってもらっていいですか？」

「私は貴方を捕獲しに来たの。」

「……。」

聞き間違いではなかった。

ヤバイ、どうもヤバイ気がする。具体的には彼女の頭が。

「ほっ!?! 捕獲?!」

「ええそうよ、捕獲しに来たの」

「えーと……。何かの比喻ですか？」

一般人なら同じことを思うだろう、というか比喻であってほしかっ

た。

しかし、彼女の答えは違った

「いいえ、文字ど通りの意味よ。それでも分からないのなら金田一京介さんにでも聞いて頂戴」

「そんな国語辞典での日本語の意味は分かるよ!」

なんだこの人、頭のネジが飛んでるのか。

「時間が無いわ、早くしましょう。」

そう言って彼女はどこからともなく日本刀を取り出した。

「ちょっと待って!それ本物!」?

「さあ?分からないわ、ただ、何人もの血を吸ってることは知ってる」

「本物だよっ!」

危機を察知した僕は家まで一目散に自転車を漕いだ。

「あら?その程度の速さで逃げられると思ってるの?」

そう言って疾風の如く日本刀を取り出し切りかかってきた。

彼女の足は思いのほか早く、切りかかれた僕は気絶してしまった。

いや、死んだのか?

密室にて

目が覚めたら、僕は見覚えのない部屋にいた。難しそうな本が大量に置かれた本棚、高級そうなソファー、そして47インチの薄型テレビ、あ、テレビには最新ゲーム機「Wii」が置いてある。妙に生活感漂う部屋だな。

窓の外はもう夜だった。

後頭部が痛む、どうやらあの刀は模造刀だったようだ。まあ、そうで無ければ僕は今ごろ肉片になっているんだろうが。

そうだ、彼女はどこに行ったんだろう？

とりあえず外に出てみようと思った時、僕は起き上がれなかった。腰が抜けたわけではない、縛られているのだ。しかもその結び方がなんと言うか・・・、かなりエロティックなんだが・・・。多分、亀甲縛りというやつだと思う。

亀甲縛り（きっこうしばり）

縄による縛り方の一つ。現代では荷造り等の実用面よりも、主にSMプレイにおける最も一般的な緊縛様式として用いられる。

拘束感が少ないものの見た目が美しいため多用される。なお、厳密には身体に這う縄が六角形になるものを亀甲縛りと呼び、菱形になるものを菱縄縛りと呼ぶ。完成した全体としての見た目が亀の甲を連想させるという観点から、菱縄縛りも亀甲縛りに含める場合もある。

というのを聞いたことがある、どこで聞いたかって、聞くな僕もこんな見てくれだが男だ。

結び方はさて置き、今は結ばれているという事実の方が大変だ。

そんな事を考えていた時、部屋のドアがゆっくりと開けられ、人が入ってきた。

「あら元気そうね、死んだかと思ったわ」

入ってきたのは、例の僕に襲いかかってきた超絶美少女だった。

「死ぬほど痛かったがな、それよりどういうことだ、ちゃんと説明してもらおうぞ。」

「せっかちなのね、そんなのだったら頭ではなく目を狙えばよかったわ」

「ごめんなさい、説明して頂けませんか。」

彼女は美少女などではなく鬼だった。

「よろしい、物分かりのいい子は好きよ、私の名前は椿野雪奈。つばきの ゆきな 貴方と同じ稲荷宮高校の二年よ」

年上か、どうりで大人びた雰囲気があると思った。僕には二人のうるさい姉がいるから、年上の考えている事は大体分かる。

「貴方今、私を年増だと思ったでしょ、万死に値するわ死になさい。」

「そんな事思っ
てねえよ！」

訂正、年上の考えている事は僕にも分からない。

「自己紹介も済んだところで説明してもらおうぞ、何故僕は捕獲されてるんだ。」

もう年上とか関係無い、僕は普通にタメ語を使っていた。

「まだ言っ
てなかったかしら？」

「突然切りか
かられたから何も聞いてねえよ。」

「あれは貴方
が逃げるならじゃない。」

「誰だ
ってあの状況じゃ逃げるよ・・・。」

「そう、では
教えてあげましょう、私が貴方を捕獲した理由、それは・・・」

「それは？」

「私は可愛い物が好きだからよ！」

椿野さんは高らかに宣言していた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3320ba/>

美少女なんて・・・

2012年1月9日05時04分発行